

人口減少社会対策特別委員会（今後の進め方について）提出レポート

小山ようこ

1、委員会の進め方について

提言項目の調査

令和4年4月に提出した3分野、13項目の提言について、どの項目も大切な提言であると考えている。まずは1つ1つの項目ごとに担当課に進捗具合を伺う。(まずは確認)

人口減少社会が抱える問題とは

地方においては、人口減少社会によるダメージが大きいと考える。

人口減少社会が抱える問題は何かをもう一度確認し、人口減少社会が起きる理由や、この先に待ち受ける現象について深堀りをしていく。

そして、起こりうる社会問題について考えていく。

なるべく人口減少を止めていきたい！

- ・具体策を考えていく(各分野における視察をするなど)
- ・人口減少社会に対する上越市オリジナルの対策など
- ・地方の人口減少社会はとても深刻である。
- ・長期で取り組むべき内容として、出生率の向上を目指して若い世代が子育てしやすい環境整備も必要であるため引き続き調査していく。

2、私の考える人口減少社会対策について

起こりうる社会問題(自分の考え)

①公共交通の縮小化

人口減少社会により、バスや電車などの公共交通の縮小が問題になるのでは。

特に地方は、人口減少率が高く通勤や通学で公共交通の利用者も減少。

輸送事業者が、採算が取れないため、路線や区間からの撤退を余儀なくされるかも。

自動車を運転できない高齢者の移動手段については、社会全体として取り組む必要がある。

②空き家の増加

人口減少社会に伴い、これまで利用してきた家が不要になり、空き家の増加に対する懸念が更に高まってい

くのではないか。

空き家の増える理由は、

人口減少社会が起こると、地方の公共施設が減少し、不便であると感じた住民は、地方から都心部へと引っ越してしまう。

③出生率に関して

長期で取り組むべき内容として、出生率の向上を目指して若い世代が子育てしやすい環境整備が必要であるため引き続き調査していく。

地方こそ特に若い女性が住みたくなるまち作りや、若い女性が働きながら子育てできる環境を作り、若い女性に選ばれる地方作りを進める必要がある。

以上のことなども人口減少社会対策特別委員会で考えていきたい。

最終的に住みやすい上越市になるための要望をしていきたい。